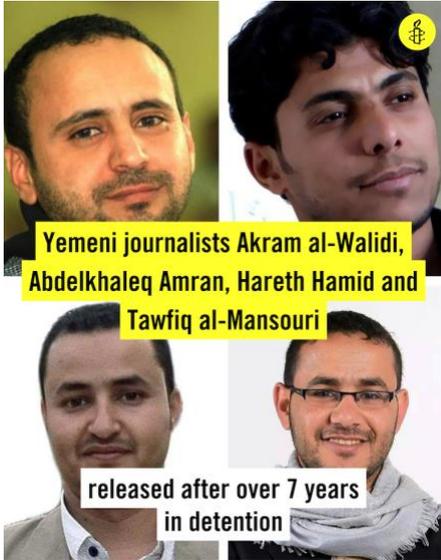


イエメン：ジャーナリスト 4 人 釈放される



4月16日、首都サヌアなどを支配下に置く反政府武装勢力のフーシ派に拘束されていた4人のジャーナリストが釈放されました。フーシ派とイエメン政府が囚人を交換する中で実現しました。

アクラム・ア

ル=ワリディさん、アブデルカレク・アムランさん、ハレス・ハミッドさん、タウフィク・アル=マンスーリさんの4人は2015年6月、サヌアのホテルがフーシ派当局に急襲された際に拘束されました。3年半、容疑がないまま勾留された4人は2018年12月、死刑が適用されるスパイ罪と「敵国サウジアラビアとその同盟国を支持する風評や偽ニュースなどを流布した罪」などで起訴されていました。

サヌアの特別刑事裁判所で家族や弁護人の立ち会いを認められないなかで審理が進められ、2020年4月11日、4人は死刑判決を言い渡されました。裁判後、判決の通知を受けた弁護人はこの判決を不服として控訴しましたが、刑事専門控訴部が控訴審を延期する事態が少なくとも10回、続いていました。

勾留中、弁護人や家族には知らされないまま4人は別の施設に移され、拷問を受けるなどの不当な扱いを受けていました。病気を患うアル=マンスーリさんが、痛みを訴えても治療を受けることができないということもありました。

そんな中で今回、4人は囚人交換の一環として釈放され、フーシ派支配下での8年近くにわたる拘禁からようやく解放されました。

4人の釈放を求める活動に参加して下さった皆さんに感謝します。皆さんの活動が朗報につながりました。ご支援、ありがとうございました。

ロシア：クリミア・タタール人支援の弁護士窮地に



ロシア人弁護士リリア・ヘメジーさんは、ロシアが実効支配するウクライナのクリミアでクリミア・タタール人の権利保護に取り組んできました。しかし最近、ヘメジーさんは、その活動を嫌

うチェチェンの弁護士会から除名され、クリミア・タタール人の弁護ができない事態に陥り、窮地に立たされています。

ヘメジーさんは、これまでロシア当局の政治的圧力を受け、またイスラム教徒であるクリミア・タタール人を支援する中でも圧力も受けてきましたが、いずれにも屈することはありませんでした。またヘメジーさんがその創設に参加した民衆運動のクリミア連合には、弁護士や専門家も参加し、クリミア・タタール人を法的、財政的、医療的な側面で支援しています。

また、弁護士や活動家の多くもロシア当局からの圧力や妨害に屈することはありませんでした。弁護士を目指すクリミア・タタール人のための学校を立ち上げるなどの活動をしてきたヘメジーさんは、今後も彼らの支援を続けるつもりです。

クリミア・タタール人は、ロシアに併合されるまではクリミア半島の人口の12%を占めていた先住民です。クリミア・タタール人社会で名を知られた人物の多くがロシアに批判的なこともあり、クリミア・タタール人全体がロシアから反ロシア的とみなされ、ロシア当局の人権侵害を批判すれば、嫌がらせ、逮捕、時には禁錮刑を受けてきました。

■支援してください

ヘメジーさんを支援してください。こちらの[ウェブサイト](#)またはインターネットで「アムネスティ UA ヘメジーさん」で検索し、最初に表示されるウェブサイトの「要請例文」をご利用ください。ぜひ、皆さんのご支援をお願いします。

ロシア：ウクライナ侵攻反対で拘禁 25 年



©Privat

昨年4月、ロシア人ジャーナリストのウラジミール・カラ＝ムルザさんは、ロシアのウクライナ侵攻を批判し、また

人権活動をしたとして逮捕され、大逆罪と「ロシア軍に関する虚偽情報の流布」などの容疑で起訴され、今年の4月17日、禁錮25年の有罪判決を言い渡されました。カラ＝ムルザさんは、その信念や発言などで囚われている「良心の囚人」です。当局は、カラ＝ムルザさんを即時無条件で釈放し、有罪判決を破棄すべきです。

カラ＝ムルザさんは、政権に批判的な指導者や団体、人権NGO、独立系メディアなどと手を組んで反政府活動をしてきました。また、国籍を問わず人権侵害に関与した外国人に対し、自国にあるその資産を凍結するなどの制裁を加える法律の支持者としても知られています。今回カラ＝ムルザさんが有罪判決を受けた背景には、ロシアによるウクライナ侵攻への批判や反政府団体「オープンロシア」の活動への参加などもありました。

カラ＝ムルザさんは、2015年と2017年の2回、危うく毒殺されそうになりました。調査団体ベリングキャットによると、カラ＝ムルザさんは毒殺未遂の直前にロシア保安局職員に尾行されていたことがわかっています。ロシア保安局は、反体制派のアレクセイ・ナワリヌイさんの毒殺未遂でも知られていますが、いずれの事件も捜査の手が入ることはありませんでした。

■支援してください

カラ＝ムルザさんの即時釈放を求めるレターをぜひ送ってください。こちらの[ウェブサイト](#)またはインターネットで「アムネスティ UA ホームページ」と検索して、最初に表示されるウェブサイトの「要請例文」をご利用ください。

ぜひ、皆様のご支援をお願いします。

イスラエル/パレスチナ:人道活動家に禁錮 12 年



©Privat

人道支援団体ワールド・ビジョンでパレスチナ自治区のガザを担当するモハメド・アル＝ハラビさんは、イスラエル組織ハマスに資金提供したとして昨年6月、禁錮12年を言い渡されました。イスラエル当局には、容疑を捏造してでもアル＝ハラビさんを投獄することで

ガザ区での人道支援を阻止する狙いがあります。自白を強要された上、弁護人不在の審理で禁錮刑を言い渡されたアル＝ハラビさんは、直ちに控訴しました。当局はアハラビさんを釈放するか、国際基準を満たす審理の下で公正な審判を下すべきです。

アル＝ハラビさんがイスラエル治安当局に逮捕されたのは2016年6月のことでした。イスラエルとガザの境界で逮捕されたアル＝ハラビさんは、2カ月後に訴追されました。容疑は740万米ドル（およそ10億円）をハマスに提供したというもので、まったく根も葉もないものでした。

ワールド・ビジョンと同団体のパレスチナ・プログラムに寄付するオーストラリア外務・貿易省の調べによると、アル＝ハラビさんがハマスに関わるようなことは一切なかったといいます。ワールド・ビジョンもアル＝ハラビさんの無実を確信しているとのことでした。

■支援してください

ぜひ、アル＝ハラビさんの支援をお願いします。こちらの[ウェブサイト](#)、またはインターネットで「アムネスティ UA アル＝ハラビさん」で検索し、最初に表示されるウェブサイトの「要請例文」をご利用ください。

UA ニュース

発行：アムネスティ・インターナショナル日本

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-12-14 晴花ビル7F

TEL：03-3518-6777 FAX：03-3518-6778

E-mail：uaoffice@amnesty.or.jp

UA年会費：1500円

郵便振替：00120-9-133251

加入者名：公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本